

# futbol y vida

Poco a poco ...  
Poco a poco ...



夏の強化トレーニング第三弾が終了!!  
選手権予選まで二週間!!

## 夏の強化トレーニング第三弾までが終了!!

### いよいよ選手権一次トーナメントに向けて最終段階に突入!!

夏休みも折り返し地点を過ぎました。夏休み早々からスタートした夏の強化トレーニングも天気に恵まれ?子どもたちも暑さにメゲズにほとんど予定通りに行われていましたが、最後に来て日本列島に前線が留まり試合が中止になることもありましたが無事に第三弾まで終了しました。

今年度も残念ながら合宿が実施できなかったため、第二弾では「**通い合宿**」と称して、午前中トレーニング、午後はTRMと一日サッカー漬けの日を設定し、いつもより「**サッカーや仲間と向き合う時間**」を作りました。また、第一弾と三弾では、参加予定のフェスティバルの代替えで、ホームグラウンドでの実施となりましたが、連日TRMを組んで、強豪校のチームに揉まれるという「**ミニ武者修行**」になりました。駒大高校 T4、狛江、明星学園、創価高校などはセカンドチームではありましたが、チームにとっては成長に繋がるいい経験になったと、子どもたちがTRMを通して一番実感できたと思っています。数多く実践し経験していくことで目には見えないサッカーの基準ができてきます。この夏も遠路遥々TRMに来ていただいているチームには、本当に感謝の言葉しかありません。



<今年の夏休みも多くチームが片倉へ>

### チームは常にステップ・アップを目指していく!!

さて、現在サッカー部が目標としているサッカーを具現化するために取り組んでいるトレーニングが定着するまでにはかなり時間を要します。サッカーはフィジカルやスキルだけではなく、常に戦術的理解や判断材料の収集が必要です。それがプレーの選択に繋がります。

「**知らなかったことをできるようにする努力**」ここには認知力も必要になるので、その過程に於いては、壁に衝突したり躓くことも多々あり、やはり何事も一朝一夕には身に付くことではないので、地道に積み重ねているところです。この夏のTRMでは、最初の頃は戸惑う場面も多く見られ上手いいかないこともありましたが、回数を重ねていく毎に課題を修正しながら少しずつではありますがほつれた糸が解けてきたようにゲームに於いても一筋の光が見えてくるケースが増えてきました。まだまだ積み重ねていて進化途中ですが、更に精進し前進していきます。

また、後にも載せていますが、特別コーチの小俣氏によるボールトレーニングをこの夏四回実施し、その影響で子どもたちが自主的にボールと触れ合う時間（小俣氏曰く「**鞠中毒者**」）が増え、少しずつゲームの中にもその成果が随所に見られるようになりました。「**ボールを操る選手**」の増殖を目指し、子どもたちにはいつもサッカーボールとともにいて欲しいですね。夏休みも残り二週間となりましたが、幸せなことにまだまだ成長できる環境がここにはあります。



## 小侯コーチによる「鞠中毒」感染者が片倉サッカー部で増加中!!

前任校からお付き合いのある小侯コーチ（明大中野八王子中学サッカー部監督）にこの夏休み合同練習を含めて四回ほどボールトレーニングのレクチャーを受けました。基本的には自分の思い通りにプレーするために「自由自在にボールを操る」ことができる選手になることです。小侯コーチの魔法のようなボールテクニックは凄いのですが、彼の類まれなパーソナリティー（オープンマインド）も最高です。また、爆弾ツアーと称してボール持って日帰りで日本中を飛び回るその行動力も半端ないです。それもあってなのか彼の魅力に感染したファンは全国各地にいます。もちろん、片倉高校サッカー部の子どもたちもその仲間です。彼の一番の魅力はやはり「いつも上手になりたい。昨日より今日、そして明日はもっと上手くなる!!」という向上心と探求心にあります。「できるまでやる。とことんやる。」が彼のモットーです。やはり全て積み重ねなんですね。



＜彼のところに人が集まるのも魅力のひとつ!!＞

また、今回も片倉高校ではお馴染みになったなでしこリーガの藤尾きらら選手と仲間たちを始め、神奈川のユースチームの高校生、神戸から東京遠征に来ているテクニシャンの小学六年生に指導者たちがゲストとして登場しサッカー部の練習に合流しました。これも全て小侯コーチの繋がりのある人たちばかりです。彼の魅力のひとつ「人が集まる」なのです。人として魅力やエネルギーのある人のところには自然と人は集まります。そして、エネルギーを注入された人がまた広がり新たな仲間ができる。こうして、彼の「魂」が拡散されていきます。



サッカーに壁は存在しない!!



サッカーボール一つで、年齢やカテゴリーを超え一緒になってミニゲームを興じるグラウンドの様子を見て、保護者や指導者の方は「こういう風景は理想ですね。すっかり日本では見なくなった光景です。今日、子どもたちを連れてきて良かったです。」と話されていました。

今後も片倉高校サッカー部ではこのような交流を積極的に実践していきたいと思えます。